



○写真上……木製の除草機
(町へ寄贈されもの)。
除草剤(農薬)が普及する
昭30年頃まで、どこの農家
でも普通に使われていた。

○写真右……稲をまたいで除
草機の隙間に稲を挟むよう
に押していくと草が取れる
が、注意深く稲を見てない
となかなかうまく進めない。
女の子たちは逆に稲を抜き
そうになったり、突然大き
なバツが飛び出してき
たりと大さわぎ。



～つるに農事だより～ 田んぼの除草(草取り)



△大玉で見るからに美味しそうなサクラambo

学校給食に鶴田産サクラambo
七月二日(水)、鶴田町学校給
食共同調理所へ、鶴田町おうとう
栽培研究会の皆さんが丹精込めて

栽培したサクラambo二十五キロが届
けられました。翌日の学校給食で、
甘く大粒のサクラamboが配られる
と、子どもたちは大喜び、鶴田な
らではの給食となりました。

今年町では、廻堰地区の水田
(須藤喜興一さん所有)をお借り
して、「水辺環境体験学習・田ん
ぼの学校」を開設しています。こ
れは、子どもたちに農作業体験を
通して、自然豊かな水環境の基礎
となる水と土の在り方を学んでも
らうための事業です。

七月二十六日(土)、二回目の
農作業体験として、サンシャイン
スクール富士見の児童たちが、昔
の農具を使って草取り作業を行
いました。子どもたちは、田植え作
業の時はいなかったカエルやバ
ツタと格闘しながらも、最後まで
草取りを元気に行いました。



△普及指導室職員からは、モモの薬剤散布はリンゴ
と区別するよう指導があった。

なお、次回の農作業体験は
案山子づくりの予定です。

七月三十日(水)、鶴田町桃栽
培組合(下山勝明会長)が、横
地区モモ園地(鈴木清司さん所有)
にて現地講習会を開催しました。

これから収穫期を迎えるモモ
(白桃)について、農業普及指導
室の職員から栽培に関する説明の
後、農薬散布や着色管理などの指
導があり、参加者は熱心に耳を傾
けていました。会長の下山さんは、
「当町の主力品種は、中生大玉種
の「あかつき」と晩生大玉種「川
中島」という品種。味に関しては
折り紙付きなので、ぜひうまく栽
培して鶴田に定着させたい」と意
気込みを語ってくれました。

鶴田町桃栽培組合 現地講習会を開催

急募! 青果・林檎移出
株式会社 諏訪商会

TEL (0172) 75-5770
〒038-3802 青森県南津軽郡藤崎町藤崎字西若松37-1

事務員 財務・・・1名
営業事務・・・2名 《新卒可》

- 勤務時間 AM8:00～PM5:10まで(残業あり)
- 月給(委細面談時) 137,500円～200,000円
- 資格(面接時パソコン実技あり) 普通自動車免許
パソコン技能2級程度・簿記2級以上の方は優遇
- 休日 毎週日曜 他

社会保険・厚生年金・雇用労災保険完備・退職金制度あり

りんご詰め作業員15名

- 勤務時間 AM8:00～PM5:10まで(残業あり20分位)
- 日給 5,200円～6,000円(りんご荷造り作業経験者優遇)
- 休日 毎週日曜 他
- 期間 平成21年7月末頃まで(若干延長あり)

社会保険・厚生年金・雇用労災保険完備